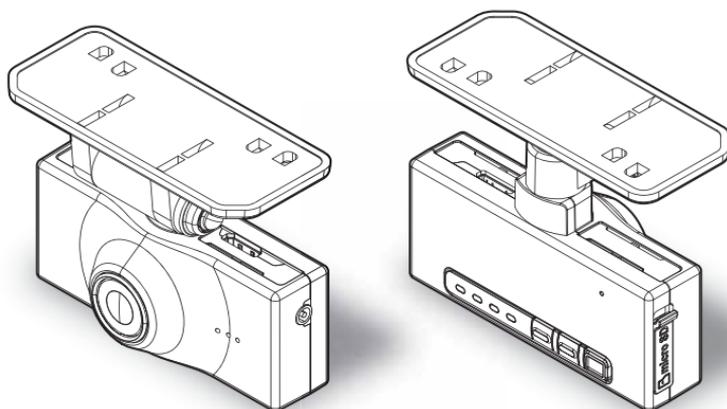


ドライブレコーダー ZDR-013

取付説明書／取扱説明書／保証書



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることができる所に保管してください。

なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

⚠ 注意

エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードの抜き差しを行ってください。

👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

はじめに

取付方法

映像を撮る

映像を見る

設定

駐車監視モードを使用する

レーザー探知機と接続する

その他

目次

目次	2	設定	36
はじめに	3	設定方法	36
安全上のご注意	3	設定内容一覧	39
ご使用上のお願い	5	日時を設定する	46
知っておきたいこと	7	駐車監視モードを使用する (オプション)	47
新しいmicroSDHCカードを 使用する場合について	8	駐車監視モードについて	47
microSDHCカードの 取り出し方について	8	駐車監視モードの動作について	48
梱包内容	9	駐車監視モードの各種設定	49
本体各部名称	10	レーダー探知機と接続する	52
別売オプション	11	相互通信機能とは	52
取付方法	12	レーダー探知機と接続する	53
取付手順を確認する	12	画面表示および操作方法	55
シガープラグコードを接続する	12	ビューワソフトの表示について	60
取付位置を確認する	13	付録	61
本体を取付ける	14	よくあるご質問	61
動作を確認する	18	LEDランプ確認表	62
映像を撮る	19	エラー確認表	63
映像の記録について	19	記録時間の目安	64
録画を開始する (電源をONにする)	23	製品仕様	66
録画を終了する (電源をOFFにする)	23	さくいん	67
本体音量を調整する	24	ZDR-013 保証書	裏面
映像を見る	25		
パソコンで映像を再生する	25		
パソコンで録画データを保存する	32		
ファームウェアを更新する	33		
DR-LINK 端子を使用し 映像を再生する	34		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分して、説明しています。

 **危険** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

 **警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XXはページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。
	本製品からのアナウンス音声を示しています。

 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

はじめに

⚠ 警告	
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
⚠ 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
	microSDHC カードを本製品に差込む場合、差込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。 ・長期間使用しなかった場合。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードを抜く時は必ず車両キースイッチを OFF にし、本体の電源が OFF になったことを確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、CHK ランプが橙点滅し、製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

はじめに

- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
(ただし microSDHC カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品は DC12V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● microSDHC カードについて

- ・付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約2～3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。
※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・安定してご使用いただくため、定期的に microSDHC カードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・microSDHC カードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属の microSDHC カードを使用してください。付属品以外の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム(FAT など)に比べ、保存データの破損が少なく、万が一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる SD カードの断片化を格段に抑えたファイルシステムとなっているため、SD カードをフォーマットする頻度を大幅に減らし、使用することができます。
- ・本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行っても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、本体の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。
- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSDHC カードを本機へ挿入すると起動時に microSDHC カードの初期化が開始されます。

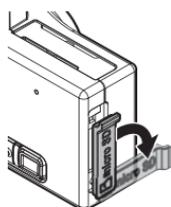
はじめに

新しい microSDHC カードを使用する場合について

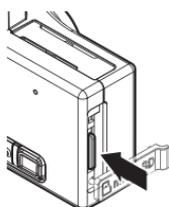
新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する場合、本体へ挿入し起動することで本製品用に初期化されます。もし初期化されなかった場合は、必ず本体の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P45)

microSDHC カードの取り出し方について

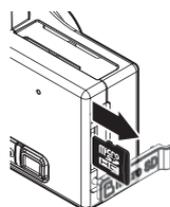
microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

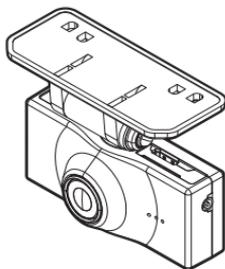
※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ずスイッチ側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にし、本体の電源が入った状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF にし本体の電源が切れた後 microSDHC カードの抜き差しを行なってください。

梱包内容

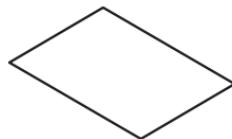
ZDR-013 本体



付属品

シガープラグコード
(約 4m/1A ヒューズ内蔵)六角レンチ (ステー角度調整用)
(2.5mm/1 個)取付ステー固定用
両面テープ (1 枚)microSDHC カード
(8GB/1 枚)*microSDHCカードは出荷時
本体にセットされています。

脱脂クリーナー (1 枚)



取扱説明書 (本書 / 1 冊)

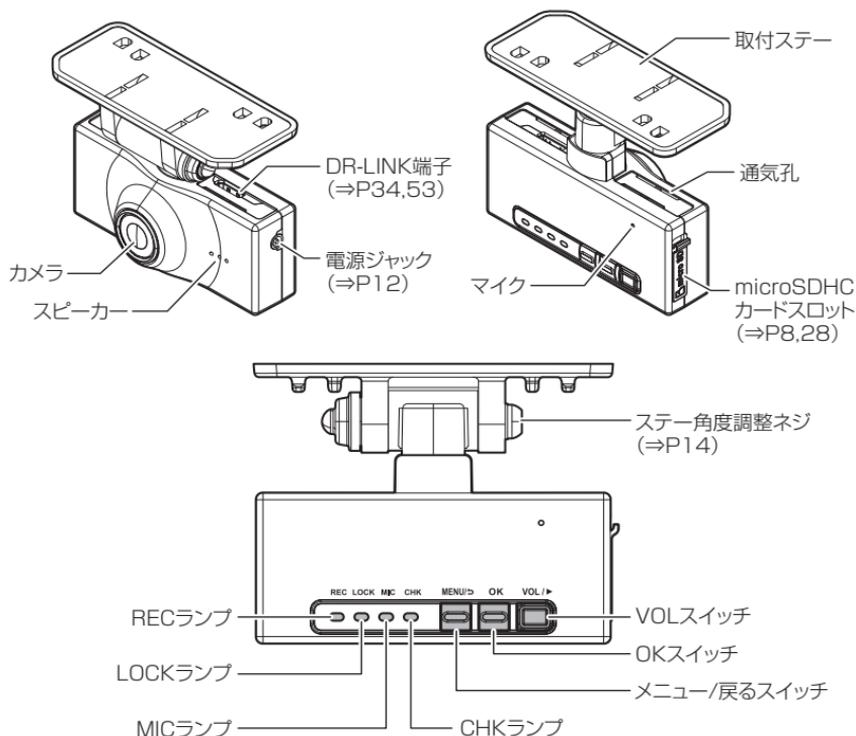


👉 アドバイス

付属品以外の microSDHC カードを使用する際は必ず本体の設定メニューから初期化 (⇒ P45) を行なってください。

はじめに

本体各部名称



⚠ 注意

- microSDHC カードは消耗品であり、約2～3年を目安に交換することをお勧めします。
- microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 付属品以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。
- 本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

別売オプション

品名	使用目的	品番
駐車監視・ 直接配線コード	対応ドライブレコーダーへ接続することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。また本製品より電源を供給するため、シガープラグコードや直接配線コードを別途接続する必要はありません。	HDROP-09
AV ケーブル	本製品をナビゲーションなどに接続するためのケーブルです。	HDROP-10
ドライブレコーダー 相互通信ケーブル	本製品と弊社対応レーダー探知機を接続することで、本製品への電源供給（※）や GPS 情報の取得、またレーダー探知機への映像 / 音声信号の通信が可能になります。	ZR-13 (ケーブル長：約 4.0m) ZR-14 (ケーブル長：約 0.4m)
AC アダプター	本製品の電源を家庭用 (AC100V) コンセントから取ることが出来ます。	SS-065

※ 一部アイドルリングストップ車で、エンジン再始動時に電圧が著しく低下する車両の場合、本体の誤動作を防ぐため電源を遮断します。そのような車両の場合、付属のシガープラグコードと併用してご使用ください。

取付方法

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

車両にシガープラグコードを接続する (P12)

車両に本製品を取付ける (P14 ~ P17)

動作確認を行う (P18)

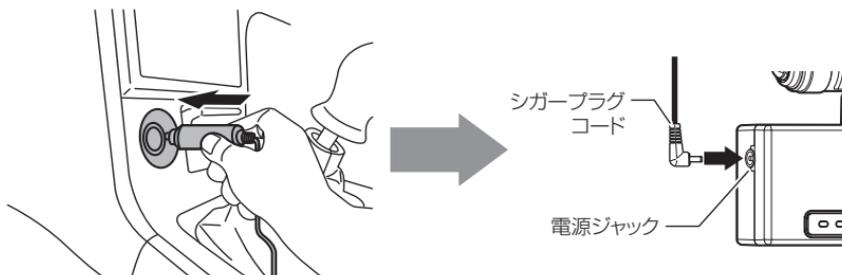
パソコンで映像を確認する (P25 ~ P33)

日時を設定する (P46)

終了

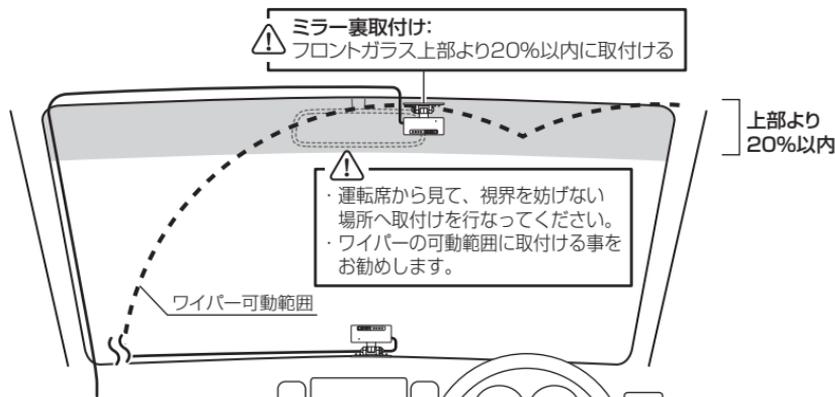
シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込み、本体の電源ジャックに電源プラグを差し込んでください。



取付位置を確認する

本製品はフロントガラス、またはダッシュボードに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。



△ 注意

- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
- ※道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- ※道路運送車両の保安基準第21条（運転者席）、細目告示第27条および別添29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見つらなくなることがあります。
- ・地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行うか、ダッシュボードへ取付けを行なってください。
- ・本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・本体の取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずGセンサー設定を見直してください。

取付方法

本体を取付ける

※ 本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

1) ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、本体の取付角度を調整します。調整後にネジを締めます。

- ・ 本体ステー部をフロントガラスに仮あてし、本体が地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・ 角度調整を容易に行うため、取付ステーをフロントガラスへ貼り付ける前に角度調整を行なってください。

■前後の調整

角度調整ネジ



■左右の調整

角度調整ネジ



⚠ 注意

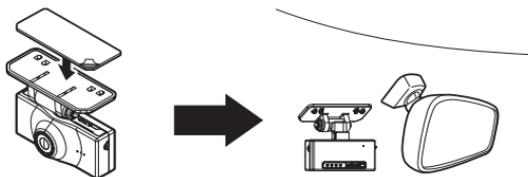
- ・ 必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・ 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ・ ステア角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

電源を接続した状態で角度調整を行うと、衝撃を検出したりスイッチを押してしまったりして映像を記録してしまうことがあるため、ご注意ください。

👉 アドバイス

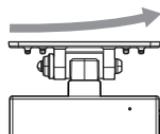
- ・ 撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調節してください。
- ・ カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。

- 2) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



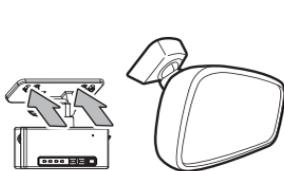
👉 アドバイス

- ・ステアを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼り付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。
※一度に貼り付けると空気が入りやすくなり、ステアが剥がれやすくなります。

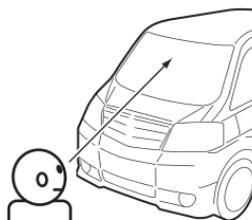


片側から順に
貼り付けていく

- ・貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。



ステー貼付け面を
裏側から押さえる。



車外から貼付け面にムラが
ないことを確認する。

◇ステア貼付け面



全体に貼付いている



気泡や色ムラがある

取付方法

⚠ 注意

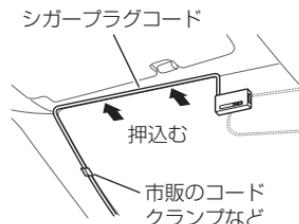
- ・自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損する恐れがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。

3) シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

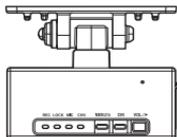
- ※運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ※地デジやETC等のコードと一緒に束ねないようにしてください。



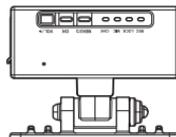
ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、映像を反転し記録します。

フロントガラス取付けの場合



ダッシュボード取付けの場合

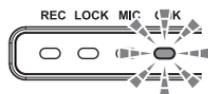


アドバイス

上下方向は起動時に判別しているため、使用中に本体を反転しても記録映像は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。

注意

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、LED ランプによる『高温注意』のエラー表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。エラー表示が消えない場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。



早い橙点滅

※エラー表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちください。

※『高温注意』のエラーは本体温度が一定以上になった時に LED 表示を行います。また起動時に一度のみ『本体温度が高温のため、録画・再生機能を停止します』とアラウンスを行います。

本体を取外す

角度調整ネジを緩めて引抜き、本体を取外します。



注意

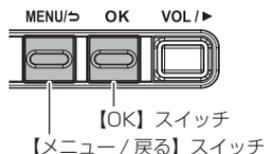
- 必ず角度調整ネジを緩めた状態で取外してください。破損の原因となります。
- 再度取付後は六角レンチで角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ステア角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

取付方法

動作を確認する

1. マニュアル録画の動作を確認する

- 1) REC ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【メニュー/戻る】スイッチまたは【OK】スイッチを押してください。



- 2) 『ピッピ』と音が鳴り、録画状態表示ランプが緑点滅を行い、音声および録画データを記録します。

※音声は自動で録音されます。

※ MIC ランプが消灯している時（設定が OFF の時）は録音されません。



👉 アドバイス

録音設定の初期設定は[ON]になっています。設定で OFF にすることもできます。
(⇒ P40)

2. 記録した映像を確認する

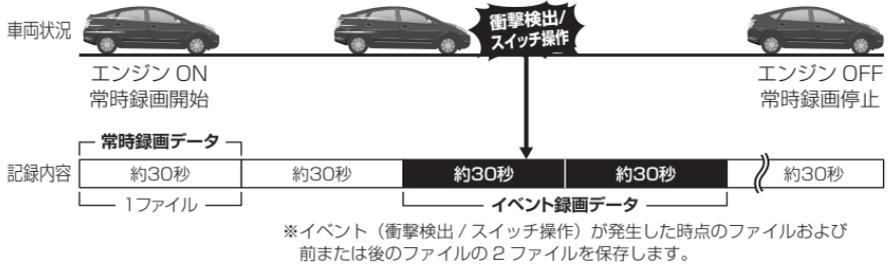
パソコン用ビューワソフトを使用し、記録した映像を確認してください。
(⇒ P25)

《確認内容》

- ・『常時録画』タブ内に、電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『マニュアル録画』タブ内に、スイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声が録音されていること

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDHCカードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。（⇒P41）
- ・本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・エラー表示ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、エラーを解除してください。

常時録画について

- ・エンジンをON（車両キースイッチをACCまたはON）にした後からエンジンをOFF（車両キースイッチをOFF）にするまでを、常時録画データとしてmicroSDHCカードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

映像を撮る

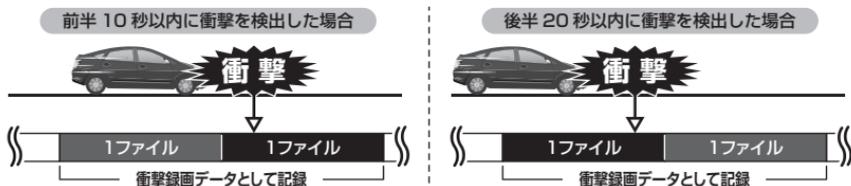
イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、またスイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』の2種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P41)

イベント録画は1ファイルの前半10秒以内に衝撃の検出またはスイッチ操作をした場合は前のファイル、後半20秒以内に衝撃の検出またはスイッチ操作をした場合は後のファイルを『衝撃録画データ/マニュアル録画データ』として記録します。

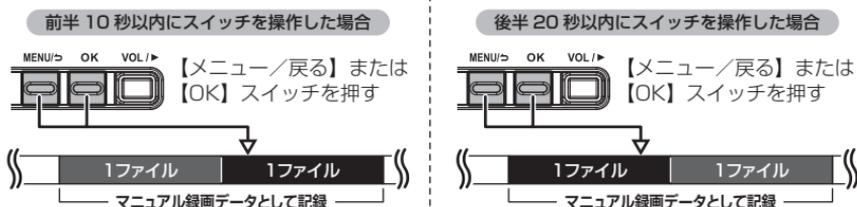
■ 衝撃録画データ

- ・ 本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ Gセンサーの感度は設定により0.1G単位で感度調整することができます。(⇒ P42)



■ マニュアル録画データ

常時録画動作中に本製品の【メニュー/戻る】スイッチまたは【OK】スイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。



録画領域について

- ・お買い上げ時の設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒ P41）
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・駐車監視常時録画は常時録画の領域、駐車監視衝撃録画はイベント録画の領域に含まれます。そのため駐車監視モード中に記録上限に達した場合、通常の常時録画データまたはイベント録画データの古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。



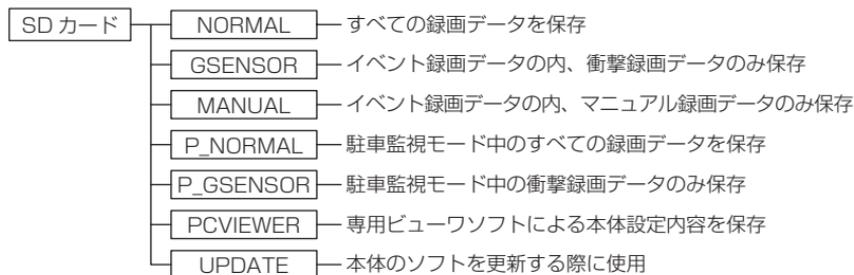
※ 録画領域を変更する場合、SD カードの初期化が必要となり、記録されたデータが全て消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行ってから設定を変更してください。

映像を撮る

保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日時・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

●フォルダー構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。

録画を開始した 年 月 日 時 分 秒 ※
YYYY_MM_DD_hh_mm_ss_XXX.MOV
録画データ種類

※年月日および時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

例) 2016/10/16 17:23:45 に常時録画を開始したフォルダー名とファイル名

NORMAL — 2016_10_16_17_23_45_Nor.MOV
2016_10_16_17_24_15_Nor.MOV
2016_10_16_17_24_45_Nor.MOV
⋮

■録画データ種類部の表示について

表示	内容	表示	内容
Nor	常時録画データ	Gsn	衝撃録画データ
Man	マニュアル録画データ	P_Nor	駐車監視常時録画データ
P_Gsn	駐車監視衝撃録画データ		

※ また録画状況により下記の内容が追記される場合があります。

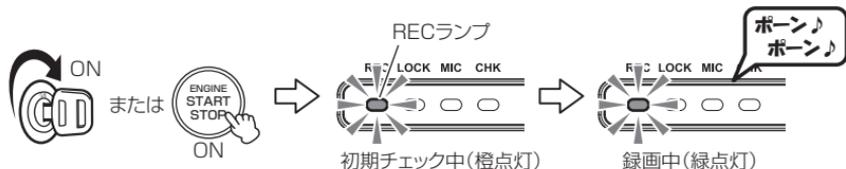
表示	内容	表示	内容
Restore	復元されたデータ	c	高温または低温によるエラーで録画を終了したデータ
SDExit	録画中に電源 OFF されたデータ	s	緊急録画停止機能により録画を終了したデータ

録画を開始する（電源を ON にする）

車両キースイッチを ACC または ON にすると本製品の電源が ON になり、録画が開始されます。

録画が開始されると、[録画状態表示ランプ] が緑点灯し、『ポーン、ポーン』と効果音が鳴ります。

※ 効果音は設定により OFF やアナウンスに変更できます。(⇒ P44)

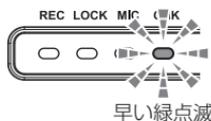


アドバイス

microSD カードチェック機能

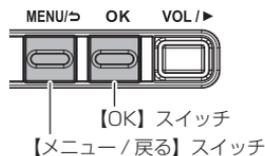
本製品では起動時に microSDHC カードをチェックし、カードが破損していた場合は LED 表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※ 対処方法に関しては P63 を参照ください。



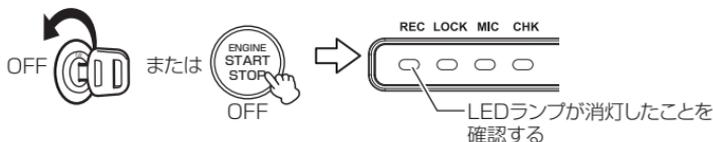
マニュアル録画について

録画中に【メニュー/戻る】スイッチまたは【OK】スイッチを押すと、『マニュアル録画データ』として記録を行います。



録画を終了する（電源を OFF にする）

車両キースイッチを OFF にすると本製品の電源が OFF になり、録画が終了します。



映像を撮る

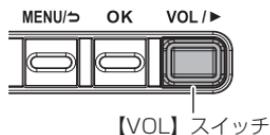
本体音量を調整する

- 本体の確認音やアナウンス音、記録映像再生時の音量を [OFF/1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- 音量を OFF に設定していても、以下の音声は鳴ります。
 - ・ エラー時の効果音
 - ・ 緊急録画停止時のアナウンス
 - ・ 音量調整時の「音量オフ」アナウンス
 - ・ 駐車監視モード終了時のアナウンス
 - ・ 新しい microSDHC カードを入れた時などのフォーマットアナウンス
- お買い上げ時は **【5】** に設定されています。

調整方法

常時録画動作中に **【VOL】** スイッチを押すごとに 1 段階ずつ音量が上がります。

- ・ [音量 10] の状態で **【VOL】** スイッチを押すと、[音量オフ] になり再度 1 段階ずつ音量が上がります。



パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社ホームページよりダウンロードできる専用ビューワソフトをインストールすることで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。また録画データは MOV ファイルで保存されているので、Windows Media Player などで再生することができます。

アドバイス

- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS: 日本語版 Windows 7 / 8.1
CPU: Core 2 Duo プロセッサ 2.8GHz 同等以上を推奨
メモリー: 4GB 以上を推奨
モニター解像度: SXGA (1280 × 1024 ピクセル) 以上を推奨
※タブレット PC を除く
- ・パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。

専用ビューワソフトをインストールする

- 1) 弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) より専用ビューワソフトをダウンロードします。



PCVIEWER.zip
(ダウンロードしたファイル)

- 2) ダウンロードしたファイルを展開します。



PCVIEWER.zip
(ダウンロードしたファイル)



PCVIEWER フォルダ
(展開してできたフォルダ)

映像を見る

- 3) 展開してできた [PCVIEWER] フォルダ内の [SETUP.EXE] をダブルクリックします。

👆 アドバイス

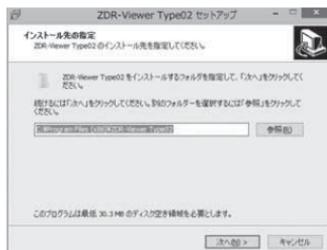
- ・「ユーザーアカウント制御画面」が表示された場合は [はい] をクリックしてください。
- ・パソコンが「拡張子の表示をしない」設定になっている場合、[SETUP] と表示されます。



- 4) [次へ] をクリックします。

👆 アドバイス

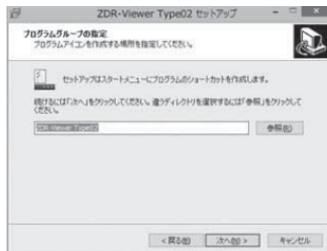
「参照」をクリックするとインストール先を変更できます。



- 5) [次へ] をクリックします。

👆 アドバイス

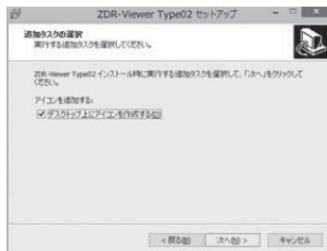
「参照」をクリックするとプログラムアイコンの作成先を変更できます。



- 6) [次へ] をクリックします。

👆 アドバイス

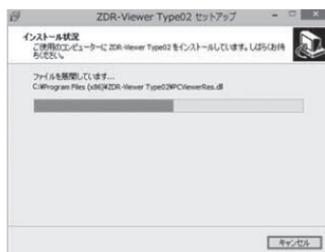
チェックを入れるとデスクトップ上にビューソフトのアイコンを作成します。



7) [インストール]をクリックします。



8) インストールが開始されます。



9) [完了]をクリックします。

👉 アドバイス

チェックを入れると[完了]をクリックした後、ビューワソフトが起動します。

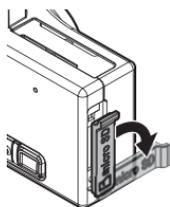


映像を見る

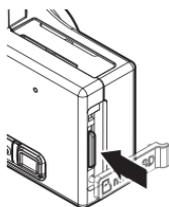
専用ビューワソフトを使用する

- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードを取り出します。

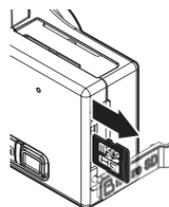
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

- 2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。

- ※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



⚠ 注意

- ・ microSDHC カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・ microSDHC カード内のデータを直接加工（切り取りや貼り付けなど）しないでください。データが正常に読み取れなくなる恐れがあります。

- 3) インストールしたビューソフトをダブルクリックします。



- 4) 【読み込み】 ボタンをクリックし、[フォルダ指定] をクリックします。

👉 アドバイス

[ファイル追加] をクリックすることで、再生したい映像を1ファイル単位で選択できます。



- 5) microSDHC カードを選択します。



映像を見る

6) 再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。



アドバイス

ビューソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行ってください。

①	撮影映像を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑱	マニュアル録画フォルダーのデータを表示する
②	現在の再生位置を表示	⑲	駐車監視モード中の常時録画データを表示する
③	【前へ】ボタン 現在再生中の1つ前のファイルに戻る	⑳	駐車監視モード中の衝撃録画データを表示する
④	【頭出し】ボタン 現在再生中の映像の最初に戻る	㉑	録画データのファイルリストを表示
⑤	【再生 / 一時停止】ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	㉒	加速度グラフの最大加速度表示の範囲を変更する
⑥	【停止】ボタン 映像を停止する	㉓	最大加速度表示の範囲を表示する
⑦	【次へ】ボタン 現在再生中の1つ次のファイルに進む	㉔	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線....前後の加速度 (X 軸) 赤線....左右の加速度 (Y 軸) 青線....上下の加速度 (Z 軸)  衝撃を検出した場所  スイッチ操作を検出した場所  緊急録画停止を検出した場所
⑧	現在の映像の再生時間を表示		
⑨	【静止画】ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で1枚のみパソコンへ保存、または印刷する		
⑩	【動画】ボタン ファイルリストのチェックボックスにチェックを入れた録画データをパソコンへ保存する	㉕	再生データの録画日時を表示
⑪	【回転】ボタン 再生中の映像を 180° 回転する	㉖	加速度を数値で表示 またチェックボックスの ON/OFF で グラフの表示 / 非表示を選択
⑫	【速度表示】ボタン レーダー探知機と接続し、GPS 受信状態で記録した映像の再生時に、速度表示の ON/OFF を切替える		
⑬	【消去】ボタン ファイルリストのチェックボックスにチェックを入れた録画データを、ファイルリストから消去する。 ※リストから消去するのみで、録画データ自体は削除されません	㉗	ログを表示 ※レーダー探知機と接続し、GPS 受信状態で記録した映像の場合、Google マップを表示
⑭	【読み込み】ボタン ビューワソフトに読み込むフォルダーおよびファイルを指定する	㉘	【設定】ボタン 本体の設定を行う (⇒ P37)
⑮	ビューワソフトの音量 / 再生速度 / 明るさを調整する	㉙	最小化ボタン
⑯	常時録画フォルダーのデータを表示する	⑳	映像の表示サイズを切替える
⑰	衝撃録画フォルダーのデータを表示する	㉑	ビューワソフトを終了する

映像を見る

パソコンで録画データを保存する

ビューワソフトの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データを動画または静止画で保存することができます。

録画データを動画で保存する

- 1) 保存したいファイルのチェックボックスにチェックを入れる。

常時録画	衝撃録画	マニュアル	駐車録画
トリガ	年-月-日		
<input type="checkbox"/>	2016-09-19		

チェックボックス

- 2) ビューワソフトの【動画】ボタンを押し、動画の保存先を選択後、【OK】を押す。



②【OK】を押す

録画データを静止画で保存する

- 1) ビューワソフトの【静止画】ボタンを押し、「ファイル出力」を押す。



- 2) 静止画の保存先を選択後ファイル名を入力し、【保存】を押す。



②ファイル名を入力し、

③【保存】を押す

アドバイス

- ・【静止画】ボタンを押し、「プリンタ印刷」を押すと、静止画を直接印刷できます。
- ・保存および印刷されるのは映像部分のみです。日時や加速度は保存、印刷されません。

ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

アドバイス

更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトの準備がない場合、掲載はありません。

映像を見る

DR-LINK 端子を使用し映像を再生する

本製品の DR-LINK 端子を使用することで、ビデオ入力端子を備えたナビゲーションやテレビ、車載モニターなどで映像を表示させることができます。また弊社相互通信対応レーダー探知機と接続することでレーダー探知機の液晶ディスプレイで映像の表示を行うこともできます。

ナビゲーションやテレビ等で映像を再生する

■接続概要図



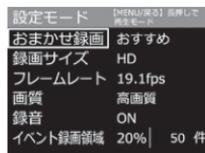
- 1) 別売 AV ケーブル (品番: HDROP-10) を本体の DR-LINK 端子へ接続します。(上図 ①)
- 2) 付属シガープラグコードや別売 AC アダプターなどの電源コードを本体の電源ジャックへ接続します。(上図 ②)

⚠ 注意

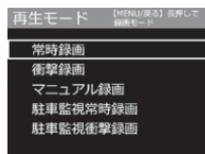
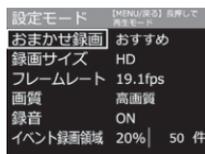
電源が ON の状態で AV ケーブルの抜き差しを行わないでください。起動中に行くと本体が再起動するなど、動作が不安定になります。必ず、電源 OFF 後 LED ランプが消灯したことを確認してから AV ケーブルの抜き差しを行ってください。

■映像再生方法

1. 【メニュー / 戻る】を長押しし、メインメニューを表示する

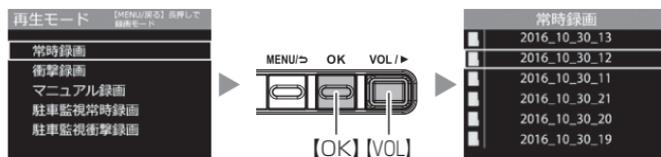


2. 再度【メニュー / 戻る】を長押しし、再生モードを表示する



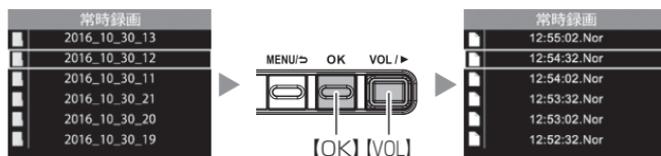
3. 映像の種類を【VOL】で選択し、【OK】を押す

- [常時録画].....常時録画データを表示
- [衝撃録画].....衝撃検出による録画データを表示
- [マニュアル録画].....スイッチ操作による録画データを表示
- [駐車監視常時録画].....駐車監視モード中の常時録画データを表示
- [駐車監視衝撃録画].....駐車監視モード中の衝撃録画データを表示



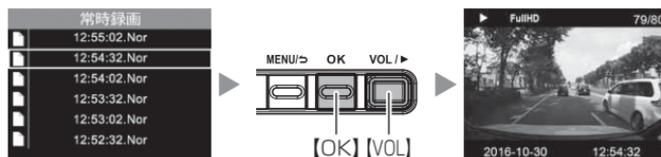
4. フォルダーを【VOL】で選択し、【OK】を押す

※本体での表示は、録画した年月日時をもとにしたフォルダー名称で表示し、録画した時分秒をもとにしたファイル名称で表示します。



映像を見る

5. 見たいファイルを【VOL】で選択し、【OK】を押すと映像の再生が始まります。



6. 再生終了後は【メニュー/戻る】を長押しし、設定モードから抜けることで録画モードに戻ります。

相互通信対応レーダー探知機で映像を再生する

相互通信対応レーダー探知機との接続方法、映像再生方法および操作方法に関しては『レーダー探知機と接続する』(⇒ P52)をご確認ください。

設定

設定方法

本製品の設定は、本体の設定モードおよびビューワソフトから変更を行うことができます。

[おまかせ録画設定]、[録画サイズ設定]、[フレームレート設定]、[画質設定]、[イベント録画領域設定] を変更した際は、microSDHC カードの内容をすべて初期化します。必要なデータがある場合は必ず PC へ保存してください。

本体の設定モードで設定する

※ 約 20 秒間操作を行わないと、自動的に録画モードに戻ります。(それまで変更した設定内容は保存されます)

例:録画サイズの設定を [FullHD(1920 × 1080)] に設定変更するには・・・

1. 【メニュー/戻る】を**長押し**して、設定モードに入る

🔊 設定モードです。おまかせ録画設定 設定はおすすめです



[メニュー/戻る]

2. 【VOL】を1回押して [録画サイズ] を選択し、【OK】を押す

🔊 録画サイズ設定 設定は HD です
🔊 設定変更後、microSD カードをフォーマットします。OK スイッチを押してください。



[OK] [VOL]

3. フォーマットを行なっても問題がない場合は【OK】を押す。



[OK]

4. 【VOL】を2回押して [FullHD(1920 × 1080)] を選択し、【OK】を押す

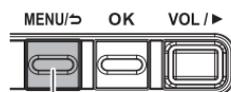
🔊 HD です。→ SD です。→ FullHD です。



[VOL]

5. 【メニュー/戻る】を**長押し**し、設定モードを抜けると録画モードに戻ります

・続けて別項目を設定することもできます。
🔊 初期化実行中です。そのままお待ちください。
🔊 ポンツ SD カードを初期化しました。
🔊 録画モードです。



[メニュー/戻る]

ビューワソフトで設定する

1. 本製品の microSDHC カードをパソコンへ挿入し、ビューワソフトを起動する (⇒ P28 ~ 31)



2. ビューワソフトの【設定】ボタンをクリックする



設定ボタン

3. microSDHC カードの場所を選択する

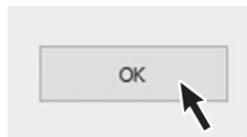


4. 各種設定を変更する

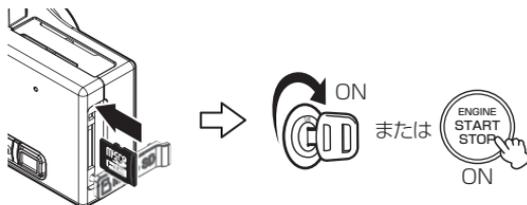


設定

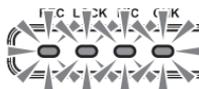
5. 設定変更後、【OK】をクリックする



6. パソコンから microSDHC カードを抜き、本体へ挿入後車両キースイッチを ACC または ON にし本製品の電源を ON にする



7. 本体の LED が緑 / 橙の全点灯を繰り返し、本製品に設定が反映されます。



設定を反映する間
緑 / 橙の全点灯を繰り返す

【おまかせ録画設定】、【録画サイズ設定】、【フレームレート設定】、【画質設定】、【イベント録画領域設定】を変更した microSDHC カードを挿入すると、起動時に microSDHC カードの初期化が開始されます。

設定内容一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
おまかせ録画	おすすめ / キレイ / ロング	おすすめ	
録画サイズ	Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)	HD (1280 × 720)	microSDHC カードが初期化されます
フレームレート	9.1fps / 19.1fps / 29.1fps	19.1fps	
画質	高画質 / 低画質	高画質	
録音	OFF / ON	ON	
イベント録画領域	10% / 20% / 30%	20%	microSDHC カードが初期化されます
上書き禁止	OFF / イベント録画 / 全録画	OFF	
G センサー	OFF / 0.1G ~ 1.0G	0.6G	左右 / 前後 / 上下共通設定
日時設定	—	—	外部出力時のみ 本体で設定可能 通常時はビューワソフトにより設定
タイムスタンプ	OFF / ON	OFF	
駐車監視モード	OFF / 衝撃録画 / 常時・衝撃録画 / タイムラプス録画	OFF	詳細は P48
駐車監視衝撃感度	高感度 / 標準 / 低感度	標準	駐車監視モード設定が OFF 以外 の時に有効
駐車監視録画時間	30分 / 1・3・6・9・12時間 / 常時 ON	30分	
駐車監視録画停止電圧	11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V	12.2V	
駐車監視降車キャンセル	1分 / 3分	1分	
駐車監視乗車キャンセル	1分 / 3分	1分	
緊急録画停止	OFF / 高感度 / 標準 / 低感度	OFF	
画像補正	OFF / HDR-ON / WDR-ON	OFF	
カメラ輝度	明るい / 標準 / 暗い	標準	
録画お知らせ	OFF / アラーム / 音声	アラーム	
ドライブサポート	OFF / アラーム / 音声	OFF	
SD カードの初期化	—	—	
工場出荷状態に戻す	—	—	
Ver 情報	—	—	外部出力時のみ 本体で確認可能

設定

おまかせ録画設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・【録画サイズ】や【フレームレート】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。
- ・設定は [キレイ / ロング / おすすめ] から選択できます。
- ※各設定を個別に変更した際は [ユーザー設定] とアナウンスされます。

■設定内容

設定	おすすめ	キレイ	ロング
録画サイズ	HD	FullHD	SD
フレームレート	19.1fps	29.1fps	9.1fps
画質	高画質	高画質	低画質

録画サイズ設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像サイズを [Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【HD (1280 × 720)】に設定されています。

フレームレート設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像のフレームレートを [9.1fps/19.1fps/29.1fps] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【19.1fps】に設定されています。

👉 アドバイス

フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表しており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいくほど映像が滑らかに再生されますがデータサイズが大きくなり、microSDHC カードに記録できる件数が減ります。

画質設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【高画質】に設定されています。

録音設定

- ・記録する映像に音声の録音を行うかの [ON/OFF] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

イベント録画領域設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・ イベント録画（衝撃録画およびマニュアル録画）のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒ P21）
- ・ イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・ お買い上げ時は【20%】に設定されています。

アドバイス

初期設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）の領域として設定されています。

■ microSDHC カード容量によるイベント録画ファイル数の目安

設定	microSDHC カード容量			
	4GB	8GB	16GB	32GB
10%	約 10 ファイル	約 20 ファイル	約 40 ファイル	約 80 ファイル
20%	約 20 ファイル	約 40 ファイル	約 80 ファイル	約 160 ファイル
30%	約 30 ファイル	約 60 ファイル	約 120 ファイル	約 240 ファイル

※ 上記イベント録画ファイル数は目安となり、実際と異なる場合があります。

上書き禁止設定

- ・ 録画データが microSDHC カード容量の上限まで達した場合の動作を、[OFF / イベント録画 / 全録画] から選択できます。
- ・ お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画	イベント録画
OFF	すべての録画データを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続
イベント録画	イベント録画データのみ上書きされません。	上書きして録画を継続	録画を停止
全録画	すべての録画データは上書きされません。	録画を停止	録画を停止

設定

G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を [OFF/0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・お買い上げ時はそれぞれ【0.6G】に設定されています。

タイムスタンプ設定

- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。専用ビューソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認することができます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

タイムスタンプ機能は映像と録画しながら日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

画像補正設定

- ・本製品には画像補正機能として、HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 機能および WDR (ワイド・ダイナミック・レンジ) 機能を搭載しています。
- ・HDR 機能または WDR 機能を ON にすることで白とびや黒つぶれを補正した録画データを記録することができます。

[OFF]画像補正を行わず、撮影したデータのまま記録します。

[HDR-ON].....画像補正により、鮮明な映像を記録します。

[WDR-ON].....画像補正により、HDR 機能より鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。

- ・HDR 機能を ON にすると撮影条件によって一部の画像が二重に重なって記録される場合があります。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

アドバイス

白とび / 黒つぶれとは

白とび……… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。

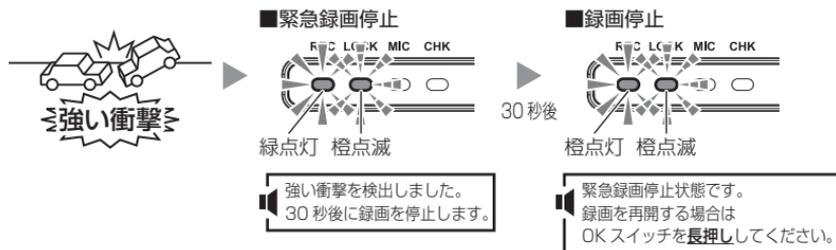
黒つぶれ……… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

カメラ輝度設定

- ・撮影映像の明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 30 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
 - ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF / 高感度 / 標準 / 低感度] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。



マニュアル録画 (⇒ P20) 中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSDHC カードに保存されます。

アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

そのため事故後 microSDHC カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし microSDHC カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、【OK】スイッチを**長押し**して録画を再開してください。

設定

録画お知らせ設定

- ・起動時の音を [OFF/ 音声 / チャイム] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【チャイム】に設定されています。

ドライブサポート設定

- ・ [アラーム] または [音声] に設定すると、急加速や急減速等、一定以上の「G (加速・減速)」を検出時に、アラーム音または音声でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON になります。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ G センサーの設定が 0.3G 以下の場合はお知らせしません。

■ [音声] 設定時のアナウンス内容

運転状況	アナウンス内容
急加速時	ピッピッ♪ 急加速を検知しました。
急減速時	ピッピッ♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ピッピッ♪ 急ハンドルを検知しました。

※ [アラーム] 設定時は効果音のみでお知らせします。

👉 アドバイス

- ・ G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・ アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・ スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

◇ 長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になります。そろそろ休憩してください。」

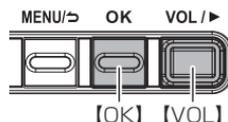
SD カードの初期化（内部データの消去）

- ・ microSDHC カードの内部データを消去し初期化を行います。（初期化を行っても本体の設定情報は保持されます）
- ・ 新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。

■初期化方法

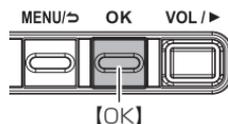
- 1) 設定モードで【VOL】で【SD カードの初期化】を選択し、【OK】を押すと確認アナウンスが鳴ります。

- 🔊 microSD カードを初期化します。OK スイッチを押してください



- 2) 確認アナウンスが鳴るので、初期化を行っても問題ない場合は【OK】を押します。

- 🔊 初期化実行中です。そのままお待ちください



- 3) microSDHC カードの初期化が開始され、完了すると録画モードに戻ります

- 🔊 SD カードを初期化しました。

👉 アドバイス

- ・ microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。必ず事前に内部データのバックアップを行なってください。
- ・ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。

工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

⚠ 注意

消去したデータを復元することはできません。

Ver 情報

本製品のソフトウェアバージョンを表示します。

設定

日時を設定する

本製品は本体単体では日時の設定を行うことができません。日時設定を行うには専用ビューワソフトをパソコンへインストール（⇒P25）し、設定を行なってください。

アドバイス

- DR-LINK 端子を使用しナビゲーションやテレビ、またはレーダー探知機などと接続している場合は、本体の操作またはレーダー探知機での操作により設定を行うことができます。

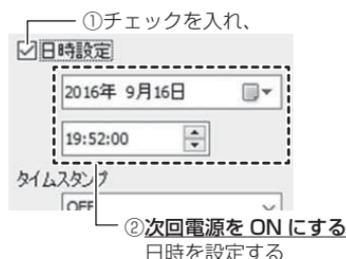
設定モード	[MENU]/戻る 長押しして 再生モード
上書き禁止	OFF
Gセンサー	1.0G
日時設定	<input checked="" type="checkbox"/>
タイムスタンプ	OFF
駐車監視モード	タイムラプス録画
駐車監視衝撃感度	低い

- レーダー探知機と接続している場合、日時はレーダー探知機の GPS 情報により自動で設定・補正を行います。
- 設定した日時は本体の内蔵電池によって保持されますが、常に正確な日時情報で映像を記録するために、1ヶ月に一度は日時を設定し直すことをお勧めします。

設定方法

1. P37,38 を参考に設定画面を開く

2. [日時設定] のチェックを入れ、**次回電源を ON にする日時**を設定する



3. microSDHC カードを本体へ挿入後、**設定した時刻になったら車両**キースイッチを ACC または ON にし本製品の電源を ON にすることで設定完了です。

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードについて

- 別売オプションのHDROP-09『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- 本製品より電源を供給するため、シガープラグコードや直接配線コードを別途接続する必要はありません。
- HDROP-09『駐車監視・直接配線コード』を接続後、必ず設定モードより【駐車監視モード】の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードは使用できません。

⚠ 注意

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。（毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している）
- 駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSDHC カードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

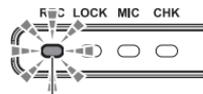
駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードの動作について

駐車監視モードに移行する

- ・HDROP-09『駐車監視・直接配線コード』を接続後、[駐車監視モード]設定を OFF 以外に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・駐車監視モード動作中は REC ランプが 3 回点滅を繰り返します。
- ・駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■ 駐車監視モード動作中



緑 3 回点滅

👉 アドバイス

車両キースイッチ OFF 後、[駐車監視降車キャンセル] 設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし衝撃の検出を行いません。

駐車監視モードを終了する

- ・駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点や本体のスイッチを押すことで終了させることができます。
- ・設定電圧以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

👉 アドバイス

駐車時衝撃検出アナウンス

- ・駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。お知らせ後は【OK】スイッチを押すまで録画を開始しません。
- ・車両キースイッチを ACC または ON 後、[駐車監視乗車キャンセル] 設定時間内は、乗車時の振動による衝撃とみなし、上記お知らせを行いません。

駐車監視モードパス機能

- ・駐車監視モード中に本体のいずれかのスイッチを押すことで、一時的に駐車監視モードを OFF にすることができます。
- ・機械式立体駐車場や振動の多い場所、風の強い日など、本製品が衝撃を検出してしまうような場所へ駐車する際にご使用することをおすすめします。
- ・車両キースイッチを ON にし、本体の電源を ON にすることでパス機能は解除されます。

駐車監視モードの各種設定

駐車監視モード設定

- ・本製品の駐車監視モードは OFF / 衝撃録画 / 常時・衝撃録画 / タイムラプス録画 から選択できます。

[OFF] 駐車監視モードを使用しません

[衝撃録画] 駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。

[常時・衝撃録画] 駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。

[タイムラプス録画] 駐車監視モード中、1秒に1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。

- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

👉 アドバイス

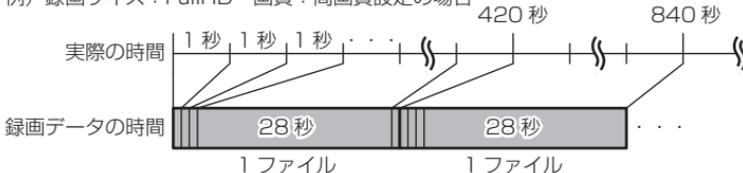
タイムラプス録画について

- ・タイムラプス録画に設定した場合、通常 1 ファイルあたりに記録される実時間および録画データ自体の長さが、録画サイズ設定（⇒ P40）、フレームレート設定（⇒ P40）および画質設定（⇒ P40）の内容により可変します。

例えば録画サイズ設定を [FullHD]、フレームレート設定を [29.1fps]、画質設定を [高画質] に設定していた場合、420 秒分の記録を 28 秒の映像で確認することができます。

■ タイムラプス録画イメージ

例) 録画サイズ：FullHD 画質：高画質設定の場合



- ※ 設定の違いによる記録される実時間および録画データ自体の長さは P65 を参照ください。

- ・通常の衝撃録画（⇒ P20）と異なり、実時間の前半 10 秒以内に衝撃を検出した場合は前のファイルを、実時間の後半 20 秒以内に衝撃を検出した場合は後のファイルを衝撃を検出した時点のファイルとともに『駐車監視衝撃録画』データとして記録します。

- ・駐車監視モード中に電源プラグが抜けたり、常時電源線が断線するなど予期せぬ電源 OFF の際は、録画データが短く（最大 1 秒）保存される場合があります。

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視衝撃感度設定

- ・ 駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を [高感度 / 標準 / 低感度] から選択できます。
- ・ お買い上げ時は【標準】に設定されています。

駐車監視録画時間設定

- ・ 駐車監視モードの動作時間を [30分 / 1時間 / 3時間 / 6時間 / 9時間 / 12時間 / 常時 ON] から選択できます。
- ・ 【常時 ON】に設定すると、車両バッテリー電圧が [駐車監視録画停止電圧設定] で設定した電圧に低下するまでの間、動作を行います。
- ・ お買い上げ時は【30分】に設定されています。

駐車監視録画停止電圧設定

- ・ 駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を [11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V] から選択できます。
- ・ お買い上げ時は【12.2V】に設定されています。

駐車監視降車キャンセル設定

- ・ 車両から降車する際の振動や衝撃を検出して、駐車監視衝撃録画データとして記録を行わない時間を [1分 / 3分] から選択できます。
※降車キャンセル時間中でも常時録画は行います。
- ・ お買い上げ時は【1分】に設定されています。

駐車監視乗車キャンセル設定

- ・ 車両から降車する際の振動や衝撃を検出して、「駐車時衝撃検出アナウンス」(⇒ P48) を行わない時間を [1分 / 3分] から選択できます。
※アナウンスのみキャンセルされ、駐車監視衝撃録画データは記録されます。
- ・ お買い上げ時は【1分】に設定されています。

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも【駐車監視録画時間】設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が【駐車監視録画停止電圧】設定以下になると、駐車監視モードを終了します。

※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中に本体の使用温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. 【駐車監視モード】設定が **【OFF】以外** に設定されていることをご確認ください。
 2. 本製品は車両バッテリー保護のため、駐車監視録画停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が【駐車監視録画停止電圧】設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
 3. HDR0P-09【駐車監視・直接配線コード】の常時電源線を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。

Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

A. 【駐車監視モード】設定を【OFF】に設定してください。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

A. 駐車監視モード作動中は本体の REC ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	REC ランプ
駐車監視モード作動中	緑 3 回点滅
駐車監視モード作動中に衝撃を検出	緑点滅

Q. 後方、側方の映像も録画しますか？

A. カメラの向いている方向のみの録画となります。

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

A. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

レーダー探知機と接続する

相互通信機能とは

弊社相互通信対応レーダー探知機と本製品を別売オプション ZR-13/ZR-14「ドライブレコーダー相互通信ケーブル」で接続することで、本製品への電源供給や GPS 情報の取得、レーダー探知機で映像の確認や本製品の操作が行えるようになります。

ZR-13/ZR-14 ドライブレコーダー相互通信ケーブル



- ・ ZR-13 ケーブル長：約 4.0m
- ・ ZR-14 ケーブル長：約 0.4m

本製品への電源供給

レーダー探知機から本製品へ電源が供給されるため、付属のシガープラグコードなどで本製品の電源を取る必要がありません。

※ 一部アイドリングストップ車で、エンジン再始動時に電圧が著しく低下する車両の場合、本体の誤動作を防ぐため電源を遮断します。そのような車両の場合、付属のシガープラグコードと併用してご使用ください。

GPS 情報の取得

- ・レーダー探知機の GPS 情報を使用し、自車の走行速度や位置情報を録画データとともに記録します。
- ・日時情報も GPS により自動で設定・補正を行います。
- ・記録された走行速度や位置情報はビューワソフトで確認することができます。

レーダー探知機の液晶ディスプレイで映像の確認

レーダー探知機の液晶ディスプレイで録画中の映像や記録したデータの確認が行えます。

レーダー探知機で本製品の操作

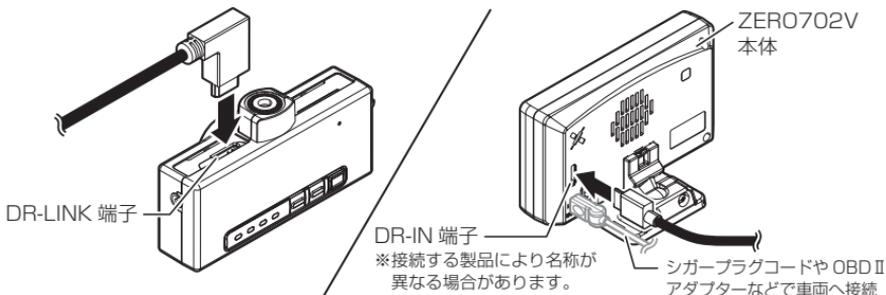
- ・レーダー探知機で設定操作やマニュアル録画など、本製品で行える操作のすべてをレーダー探知機で行うことができます。
- ・レーダー探知機と接続している場合、本製品の本体スイッチはマニュアル録画操作のみとなります。

レーダー探知機と接続する

接続方法

例) ZERO702V と接続する場合

※車両キースイッチを OFF (電源を OFF) にした状態で接続を行なってください。



⚠ 注意

- ・配線が引っ張られた状態で配線の取回しを行うと、断線や接触不良により電源が不安定になる可能性があります。配線は余裕を持たせ取回しを行なってください。
- ・電源ジャックおよびコネクタには向きがあるため、無理に差込むと破損します。



端子形状

一部レーダー探知機との接続について

本製品と一部レーダー探知機 (ZERO 702V/ZERO 802V/ZERO 802M) を相互通信接続して使用する場合、レーダー探知機のシステムバージョンによっては一部相互通信機能が使用できない場合があります。

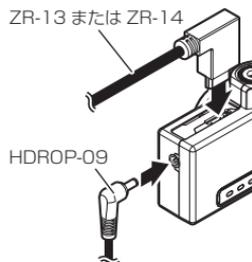
弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) の案内をご確認頂き、レーダー探知機のシステムバージョンが最新バージョンでない場合は、更新を行なってください。

👉 アドバイス

HDROP-09「駐車監視・直接配線コード」と同時接続する場合

※ 車両キースイッチを OFF (電源を OFF) にした状態で接続を行なってください。

HDROP-09「駐車監視・直接配線コード」と同時接続する場合は、本製品とレーダー探知機をドライブレコーダー相互通信ケーブルで接続したうえで、本製品の電源ジャックへ HDROP-09 を接続してください。



レーダー探知機と接続する

動作を確認する

※ レーダー探知機の設定操作に関しては、レーダー探知機付属の取扱説明書をご確認ください

1. レーダー探知機のメインメニューから
[外部入力機器設定] の設定内容を【ドラレコ】に変更する



例) ZERO702V の場合

2. レーダー探知機の表示を外部入力表示に切替える



3. レーダー探知機の液晶画面に「相互通信アイコン」と「速度表示」が表示されていることを確認する



例) ZERO702V の場合

4. レーダー探知機を操作して本製品の設定や記録映像の確認、マニュアル録画ができることを確認する

・ 接続するレーダー探知機によりタッチパネルやリモコン、本体スイッチなど操作手段は異なります。



タッチパネルや
リモコンなどで操作

画面表示および操作方法

録画モード画面



アイコン		表示内容
①	FullHD SD	録画サイズの設定を表示 (⇒ P40)
②	Hi Lo	画質の設定 (Hi: 高画質 / Lo: 低画質) を表示 (⇒ P40)
③	REC RECM	録画種類を表示 REC: 常時録画 / REC G: 衝撃録画 / REC M: マニュアル録画
④	HDR WDR	画像補正機能の設定を表示 (⇒ P42)
⑤	ALL EVENT	上書き禁止の設定を表示 (⇒ P41)
⑥	🔊 🔇	音声録音の設定を表示 (⇒ P40)
⑦	↔	相互通信アイコンを表示

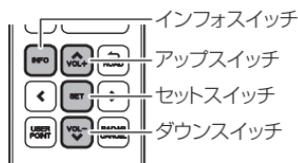
レーダー探知機と接続する

■レーダー探知機タッチパネルでの操作



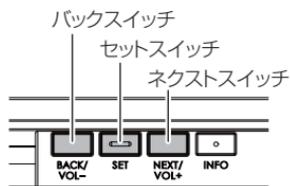
操作スイッチ	短押し	長押し
アップスイッチ	マニュアル録画	音量を上げる
ダウンスイッチ	マニュアル録画	音量を下げる
OK スイッチ	マニュアル録画	マニュアル録画
メニュー/戻るスイッチ	—	設定モードに入る

■レーダー探知機リモコンでの操作



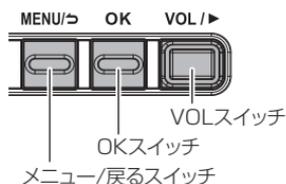
操作スイッチ	短押し	長押し
インフォスイッチ	—	設定モードに入る
アップスイッチ	マニュアル録画	音量を上げる
セットスイッチ	マニュアル録画	マニュアル録画
ダウンスイッチ	マニュアル録画	音量を下げる

■レーダー探知機本体スイッチでの操作



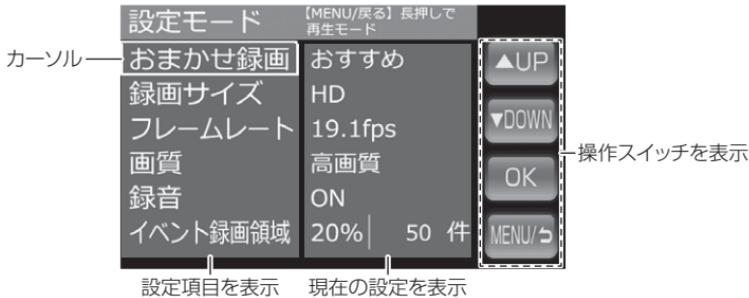
操作スイッチ	短押し	長押し
バックスイッチ	—	設定モードに入る
セットスイッチ	マニュアル録画	マニュアル録画
ネクストスイッチ	マニュアル録画	音量を下げる

■本製品本体スイッチでの操作



操作スイッチ	短押し	長押し
メニュー/戻るスイッチ	マニュアル録画	—
OK スイッチ	マニュアル録画	—
VOL スイッチ	マニュアル録画	—

設定モード画面

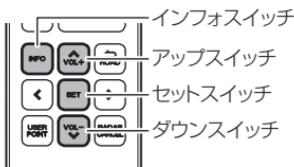


■レーダー探知機タッチパネルでの操作



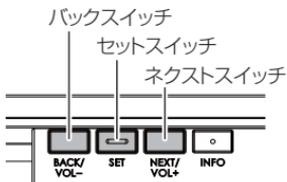
操作スイッチ	短押し	長押し
アップスイッチ	カーソルを上へ移動	—
ダウンスイッチ	カーソルを下へ移動	—
OK スイッチ	決定	—
メニュー/戻るスイッチ	—	再生モードに移行

■レーダー探知機リモコンでの操作



操作スイッチ	短押し	長押し
インフォスイッチ	—	再生モードに移行
アップスイッチ	カーソルを上へ移動	—
セットスイッチ	決定	—
ダウンスイッチ	カーソルを下へ移動	—

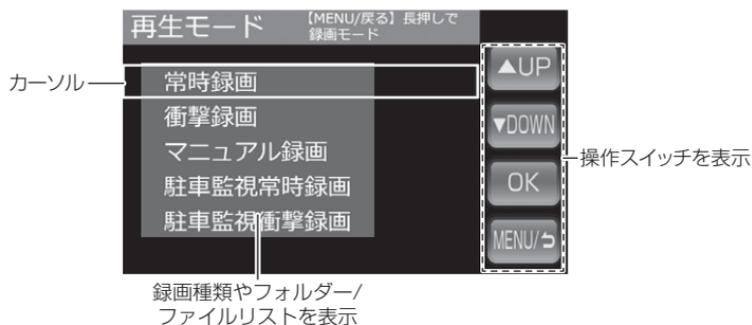
■レーダー探知機本体スイッチでの操作



操作スイッチ	短押し	長押し
バックスイッチ	—	再生モードに移行
セットスイッチ	決定	—
ネクストスイッチ	カーソルを下へ移動	—

レーダー探知機と接続する

再生モード画面（ファイル選択画面）

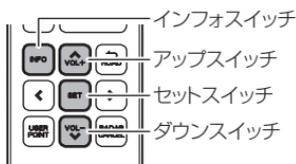


■レーダー探知機タッチパネルでの操作



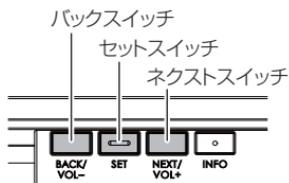
操作スイッチ	短押し	長押し
アップスイッチ	カーソルを上へ移動	—
ダウンスイッチ	カーソルを下へ移動	—
OK スイッチ	決定	—
メニュー/戻るスイッチ	—	録画モードに移行

■レーダー探知機リモコンでの操作



操作スイッチ	短押し	長押し
インフォスイッチ	—	録画モードに移行
アップスイッチ	カーソルを上へ移動	—
セットスイッチ	決定	—
ダウンスイッチ	カーソルを下へ移動	—

■レーダー探知機本体スイッチでの操作



操作スイッチ	短押し	長押し
バックスイッチ	—	録画モードに移行
セットスイッチ	決定	—
ネクストスイッチ	カーソルを下へ移動	—

再生モード画面（再生画面）

動作状態を表示 → FullHD G 47/80

録画サイズを表示

録画種類を表示
非表示・・・常時録画データ
G・・・衝撃録画データ
M・・・マニュアル録画データ

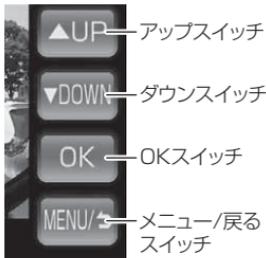
再生映像の再生番号／総件数を表示
※再生フォルダー内の件数を表示

操作スイッチを表示

2016-10-30 12:34:56

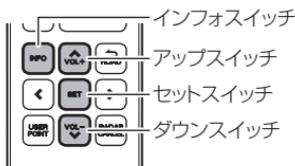
撮影日を表示 撮影時間を表示

■レーダー探知機タッチパネルでの操作



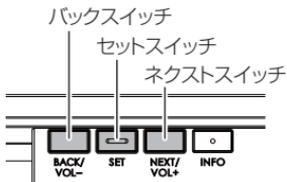
操作スイッチ	短押し	長押し
アップスイッチ	次のデータへ進む	音量を上げる
ダウンスイッチ	前のデータへ戻る	音量を下げる
OK スイッチ	再生 / 一時停止	—
メニュー / 戻るスイッチ	再生終了	前の画面に戻る

■レーダー探知機リモコンでの操作



操作スイッチ	短押し	長押し
インフォスイッチ	再生終了	前の画面に戻る
アップスイッチ	次のデータへ進む	音量を上げる
セットスイッチ	再生 / 一時停止	—
ダウンスイッチ	前のデータへ戻る	音量を下げる

■レーダー探知機本体スイッチでの操作



操作スイッチ	短押し	長押し
バックスイッチ	再生終了	前の画面に戻る
セットスイッチ	再生 / 一時停止	—
ネクストスイッチ	前のデータへ戻る	音量を下げる

レーダー探知機と接続する

ビューワソフトの表示について

- 相互通信対応レーダー探知機と接続し、GPS を受信した状態で映像を記録すると、専用ビューワソフト上に走行速度および Google マップが表示されます。
- 走行速度および Google マップは GPS 情報がある場合に表示されます。また Google マップはインターネットに接続されていないと表示されません。
- 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル録画検出・緊急録画停止検出の位置が表示されます。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画 検出アイコン
	緊急録画停止検出アイコン		

※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴ、ストリートビューは、Google Inc. の商標または登録商標です。

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

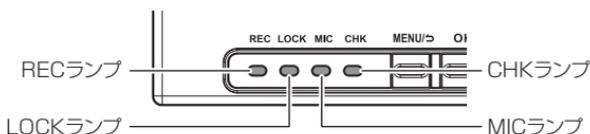
症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
LED ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？ ●接触不良や断線などしていませんか？ 	— 12 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	<ul style="list-style-type: none"> ●SD カードの初期化を行うことで映像を削除することができます。※選択して削除することはできません。 	45 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。 	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	<ul style="list-style-type: none"> ●[録画サイズ]、[フレームレート]および[画質]の設定を変更することで記録時間を変更することができます。※上記設定を変更するとmicroSDHCカードが初期化されます。 	40,64 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	<ul style="list-style-type: none"> ●microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ●衝撃録画データおよびマニュアル録画データは上書き禁止設定を[イベント録画]または[全録画]に設定しているとエラーアナウンスが鳴り、上書きされません。録画を再開するには上書き禁止設定を[OFF]に設定してください。 	19 ページ 41 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約2～3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDHC カードの寿命は短くなります。 	7 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	<ul style="list-style-type: none"> ●microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ●必要な映像をパソコンへ保存してから、本体でmicroSDHC カードの初期化を行なってください。 	5 ページ 7 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。 	—
microSDHC カードがパソコンで認識されない	<ul style="list-style-type: none"> ●お使いのSDカードリーダーはSDHCに対応していますか？付属のカードはmicroSDHCカードとなっているため、SDHCに対応している必要があります。 	—

付 録

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

■LED 表示部



名称	LED 表示	本体動作	内容
REC ランプ	緑点灯	録画中	録画中
	緑点滅	録画中	・ 衝撃録画中 ・ マニュアル録画中 ・ 駐車監視衝撃録画中
	緑 3 回点滅	録画中	駐車監視録画中
	橙点灯	録画停止	・ 起動中 ・ 設定モード中 ・ 再生モード中 ・ 本体温度が高温または低温による動作停止中
LOCK ランプ	緑点灯	録画中	上書き禁止設定 ON
	消灯	録画中	上書き禁止設定 OFF
	橙点滅	録画中	上書き禁止状態
	橙早点滅	録画停止	緊急録画停止状態
MIC ランプ	緑点灯	録画中	録音設定 ON
	消灯	録画中	録音設定 OFF
CHK ランプ	緑早点滅	録画停止	microSDHC カードに関するエラー表示
	橙点滅	録画中	本体温度の高温 / 低温による注意喚起表示
	橙早点滅	録画停止	本体温度の高温 / 低温による動作停止表示
全 LED	橙早点滅	録画停止	駐車監視お知らせ表示
	緑・橙交互点滅	録画停止	・ ビューワソフトで変更した設定の反映中 ・ 本体ソフトウェアのアップデート中

※ 表示部は録画停止中を示しています。

エラー確認表

エラーが発生した場合、下記内容をご確認ください。

アナウンス /LED 点滅内容	対処方法
ブザー音「ブブッ」 [CHK ランプ：緑早点滅]	<ul style="list-style-type: none"> ・ microSDHC カードが未挿入の場合は電源を OFF にし、microSDHC カードを挿入し、再度起動してください。 ・ microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、microSDHC カードを挿入し再起動してください。症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行ない、お試しください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの寿命が考えられるため、microSDHC カードの交換をおすすめします。
本体温度が高温のため 録画・再生機能を停止します。 [CHK ランプ：橙早点滅]	本体の動作温度範囲を超えているため、正常に動作できません。しばらく時間を置いて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
本体温度が低温のため 録画・再生機能を停止します。 [CHK ランプ：橙早点滅]	
イベント録画がいっぱいです [LOCK ランプ：橙点滅]	上書き禁止設定を [イベント録画] または [全録画] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に出るエラーです。
録画データがいっぱいです [LOCK ランプ：橙点滅]	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、SD カードの初期化を行い録画データを消去してください。

付 録

記録時間の目安

microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量、録画サイズ設定、画質設定により変動します。下記表を参考にしてください。

※ 対応 microSDHC カード：4GB～32GB (class10 以上推奨)

※ 本製品付属 microSDHC カード：8GB (class10)

[おまかせ録画設定]、[録画サイズ設定]、[フレームレート設定]、[画質設定]、[イベント録画領域設定] を変更した際は、microSDHC カードの内容をすべて初期化します。必要なデータがある場合は必ず PC へ保存してください。

録画サイズ	フレームレート	画質	microSDHC カード容量		
			8GB	16GB	32GB
Full HD	29.1fps	高画質	約 100 分	約 200 分	約 400 分
		低画質	約 120 分	約 240 分	約 480 分
	19.1fps	高画質	約 120 分	約 240 分	約 480 分
		低画質	約 150 分	約 310 分	約 620 分
	9.1fps	高画質	約 150 分	約 310 分	約 620 分
		低画質	約 230 分	約 470 分	約 940 分
HD	29.1fps	高画質	約 120 分	約 240 分	約 480 分
		低画質	約 150 分	約 310 分	約 620 分
	19.1fps	高画質	約 150 分	約 310 分	約 620 分
		低画質	約 190 分	約 390 分	約 790 分
	9.1fps	高画質	約 230 分	約 470 分	約 940 分
		低画質	約 230 分	約 470 分	約 940 分
SD	29.1fps	高画質	約 150 分	約 310 分	約 620 分
		低画質	約 190 分	約 390 分	約 790 分
	19.1fps	高画質	約 190 分	約 390 分	約 790 分
		低画質	約 230 分	約 470 分	約 940 分
	9.1fps	高画質	約 230 分	約 470 分	約 940 分
		低画質	約 260 分	約 530 分	約 1070 分

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【HD】、フレームレートが【19.1fps】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

タイムラプス録画設定時の記録時間

- ・ 駐車監視モード設定を [タイムラプス録画] 設定にした場合、録画サイズ設定、フレームレート設定および画質設定の内容により記録時間は可変します。
- ・ 1 ファイルあたりに記録される実際の時間と録画データ自体の長さは下記表を参考にしてください。

録画サイズ	フレームレート	画質	記録される実際の時間	録画データ自体の長さ
Full HD	29.1fps	高画質	約 420 秒	約 28 秒
		低画質	約 360 秒	約 24 秒
	19.1fps	高画質	約 360 秒	約 24 秒
		低画質	約 300 秒	約 20 秒
	9.1fps	高画質	約 240 秒	約 16 秒
		低画質	約 180 秒	約 12 秒
HD	29.1fps	高画質	約 360 秒	約 24 秒
		低画質	約 300 秒	約 20 秒
	19.1fps	高画質	約 300 秒	約 20 秒
		低画質	約 240 秒	約 16 秒
	9.1fps	高画質	約 180 秒	約 12 秒
		低画質	約 120 秒	約 8 秒
SD	29.1fps	高画質	約 300 秒	約 20 秒
		低画質	約 240 秒	約 16 秒
	19.1fps	高画質	約 240 秒	約 16 秒
		低画質	約 180 秒	約 12 秒
	9.1fps	高画質	約 180 秒	約 12 秒
		低画質	約 120 秒	約 8 秒

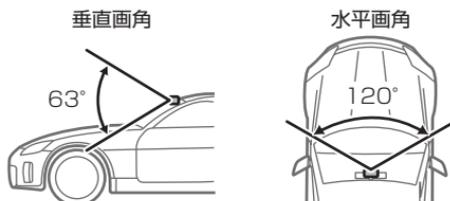
付 録

製品仕様

電源電圧	DC12V		
最大消費電流	250mA 以下		
動作温度範囲	-10℃～60℃		
カメラ	撮像素子	1/3 型 CMOS センサー	
	総画素数	400 万画素	
	有効画素数	最大 200 万画素	
	レンズ画角	水平 120° 垂直 63° (対角 145°)	
	F 値	F1.8	
	レンズ材質	ガラス	
	最低照度	2LUX	
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) HD (1280 × 720) SD (640 × 360)		
録画画質	FullHD	高画質 (平均 8Mbps)	低画質 (平均 6Mbps)
	HD	高画質 (平均 6Mbps)	低画質 (平均 4Mbps)
	SD	高画質 (平均 4Mbps)	低画質 (平均 3Mbps)
GPS	—		
G センサー	○ (0.1G ~ 1.0G : 0.1G 単位で設定可)		
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画 / マニュアル録画 [手動録画])		
録画ファイル構成	30 秒単位 (タイムラプス録画設定の駐車監視モード時は除く)		
音声録音	ON/OFF 可能		
フレームレート	9.1fps/19.1fps/29.1fps (タイムラプス録画設定の駐車監視モード時は除く)		
映像ファイル形式	MOV (MPEG-4 AVC / H.264)		
記録映像再生方法	専用ビューワソフト ※ Windows7/8.1 専用 ビデオ出力 (別売: AV ケーブル)		
記録媒体	microSDHC カード (付属: 8GB/class10)		
液晶サイズ / 液晶解像度	—		
本体サイズ	79 (W) × 42.6 (H) × 30.1 (D) /mm 取付ステー装着時: 79 (W) × 63 (H) × 30.1 (D) /mm		
重量	72g		

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

■ カメラ画角イメージ



A		た	
GPS	52	タイムスタンプ	42
G センサー	42	タイムラプス録画	49
HDR	42	駐車監視降車キャンセル	50
HDROP-09	47	駐車監視衝撃感度	50
microSDHC カードについて	7	駐車監視乗車キャンセル	50
SD カードの初期化	45	駐車監視・直接配線コード	47
WDR	42	駐車監視モードパス機能	48
ZR-13	52	駐車監視録画時間	50
ZR-14	52	駐車監視録画停止電圧	50
		長時間運転報知機能	44
あ		ドライブサポート	44
イベント録画	20	ドライブレコーダー相互通信ケーブル	52
イベント録画件数	41		
イベント録画領域	41	は	
上書き禁止設定	41	ビューワソフト	25
オールリセット	45	ファイルシステム	7
おまかせ録画	40	ファイル名	22
		フォルダー名	22
か		フレームレート設定	40
画質設定	40		
画像補正機能	42	ま	
カメラ輝度設定	42	マニュアル録画	20
記録時間	64		
緊急録画停止機能	43	ら	
黒つぶれ	42	録音設定	40
		録画サイズ設定	40
さ		録画領域	21
衝撃録画	20		
常時録画	19		
白とび	42		
相互通信	52		